

<京都府> 総人口※：2,598,643人

国籍・地域別外国人住民数※（上位3か国）：

※総人口：平成30年1月1日現在

※外国人住民数：平成29年12月末現在

うち、外国人住民数※：56,948人（外国人住民割合：2.2%） 韓国・朝鮮（25,962人）、中国（15,585人）、ベトナム（3,246人）

■日本語教室の設置と教材の普及

○入門、初級者を対象としたモデル日本語教室の開設

対象者：府内在住の外国籍住民等

実績：90レッスン

○「生活のために必要な日本語」を意識したカリキュラムや教材の開発

内容：モデル日本語教室で下記資料を試用し、内容を改善

- ・日本語教室テキスト（学習者用）
- ・テキスト使用に当たっての指導書（指導者用）
- ・テキスト翻訳版（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語）

○地域日本語教室への活動支援

・府内の国際交流協会や日本語教室と研修会を開催

実績：8回

・日本語教室同士の連携を深めるための機会と場を提供

実績：3回

○子どもの教育支援

・内容：学校からの希望に対応し、一定期間、母語支援員を派遣

・実績：支援員の派遣 10件

翻訳依頼 11件

相談対応・情報提供（支援員派遣校除く） 10件



日本語教室の様子1



日本語教室の様子2

児童生徒の教育・日本語学習支援の取組事例②（島根県）

<島根県> 総人口※：678,664人

うち、外国人住民数※：8,875人（外国人住民割合：1.31%）

国籍・地域別外国人住民数※（上位3か国）：

ブラジル（3,627人）、中国（1,334人）、ベトナム（1,146人）

※総人口：平成31年1月1日現在

※外国人住民数：平成30年12月末現在

■日本語学習機会の提供

背景

- ・日本語教室数 20カ所、教室不在市町村 7/19
⇒ 距離的、時間的に通えない住民も多い
- ・過去10年間で3カ所減少
⇒ 日本語講師の担い手の高齢化、不足



訪問型日本語学習事業の展開へ

学習対象者

- ・日本語教室が遠くて通えない、日本語教室の開設時間に行くことが出来ない外国人住民

内容

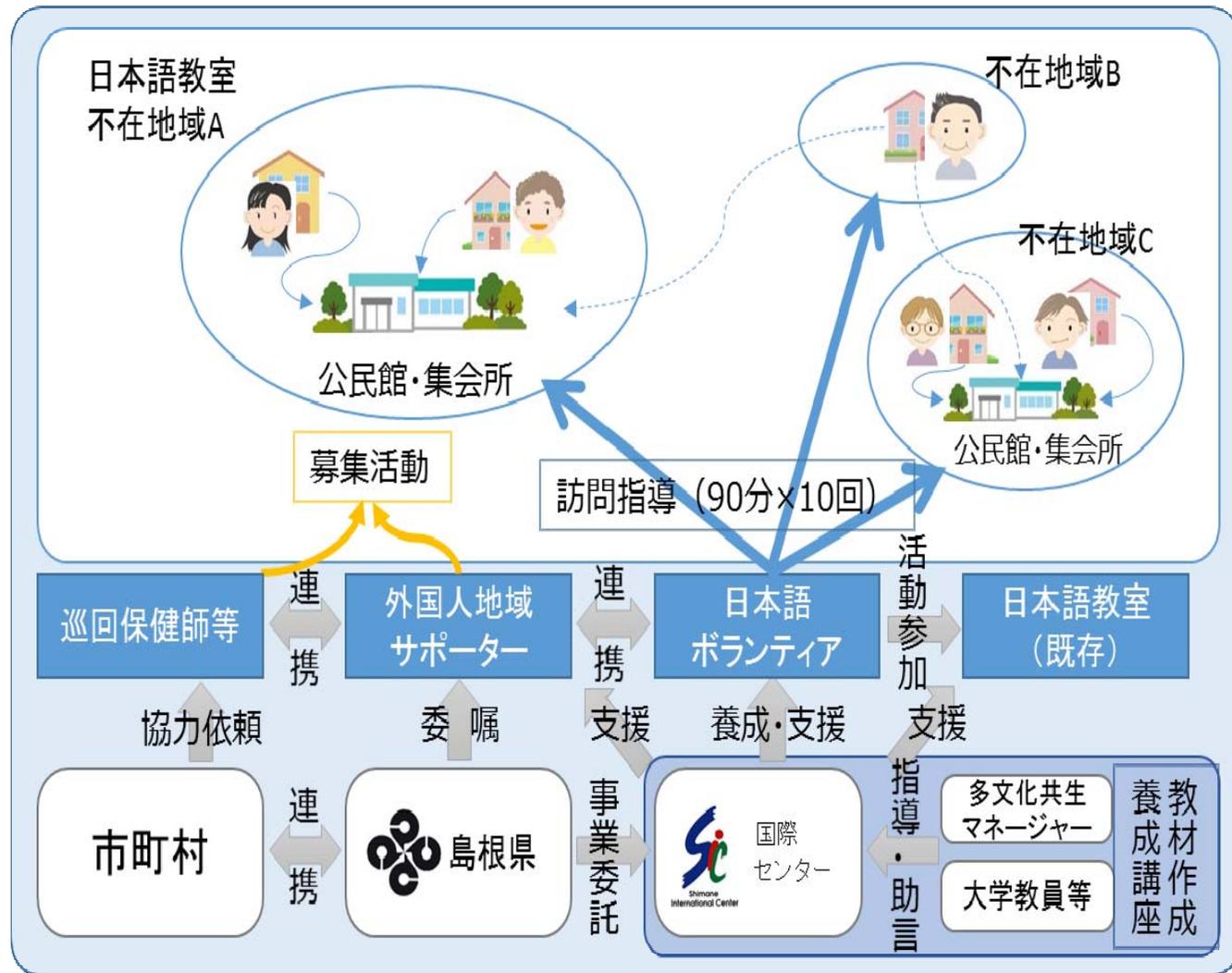
- ・県独自教材（やさしい日本語、中国語、英語、ポルトガル語、ベトナム語）を使用した講座90分×10回

講師

- ・養成講座を受講したボランティア

実施場所

- ・公民館・集会所や個人宅等



児童生徒の教育・日本語学習支援の取組事例③ (美濃加茂市)

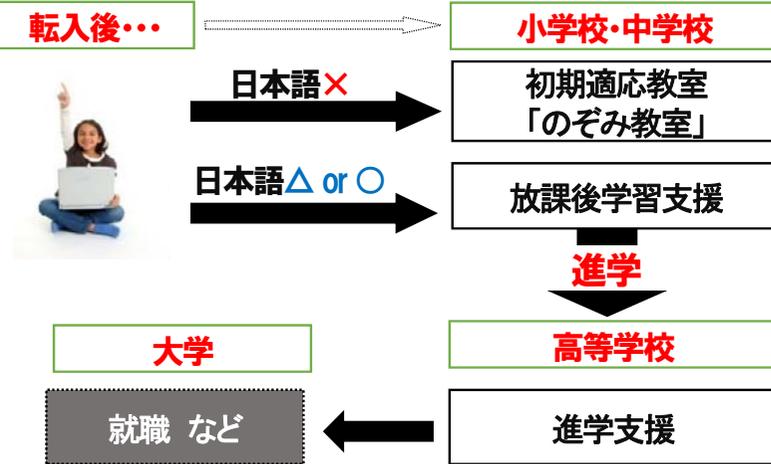
※平成31年1月1日現在

＜岐阜県美濃加茂市＞総人口※：56,972人

国籍・地域別外国人住民数※(上位3か国)：

うち、外国人住民数：4,942人(外国人住民割合：8.67%) ブラジル(2,127人)、フィリピン(1,953人)、中国(312人)

外国人児童生徒入学の流れ



■のぞみ教室(初期適応指導教室)

【対象】小学生～中学生 ※日本語を話すことができない児童生徒

【目的】転入してきた外国人児童生徒に対して、日本の生活様式や文化などになじめない時期に、学校教育で必要な生活指導や初期的な日本語の指導を一定期間集中的に行うことで、市内の小・中学校での学校生活に適應できるようにする。

【内容(生徒)】①日本の学校での生活様式や文化、生活のきまり
②学校生活上必要となる最小限の日本語
③算数、数学、音楽、図工、体育、体験学習 等

【内容(保護者)】①教育相談(就学情報の提供も含む)
②日本(市)の小・中学校の概要



日本語指導が必要な外国人児童生徒数 平成30年4月1日現在

	合計	小学校							中学校			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
外国人児童生徒数	422	41	57	57	62	45	44	306	36	37	43	116
日本語指導必要数	209	27	30	28	30	21	20	156	13	16	24	53
日本語指導必要率	50%	66%	53%	49%	48%	47%	46%	51%	36%	43%	56%	46%

	合計		ポルトガル語			フィリピン語			中国語			スペイン語			その他		
	小	中	小	中	合計	小	中	合計	小	中	合計	小	中	合計	小	中	合計
外国人児童生徒数	306	116	173	81	234	118	53	171	11	1	12	4	0	4	0	1	1
日本語指導必要数	156	53	81	27	108	70	24	94	3	1	4	2	0	2	0	1	1
日本語指導必要率	51%	46%	47%	44%	46%	59%	45%	55%	5%	100%	33%	50%	0%	50%	0%	100%	100%

■外国人児童生徒学習支援事業(放課後学習支援)

【対象】公立学校に通う外国人児童生徒

【目的】児童生徒の就学意欲を維持し、公立学校での授業を理解できるよう支援

【内容】家庭学習や学科の補習、進学指導

【実施日】太田地区：小・中学生 水・金 18:30-20:30 (小・中学生 別室)
古井地区：小・中学生 火・木 16:30-18:00 (小学生) 18:30-20:30 (中学生)

【場所】生涯学習センター (太田地区)
上古井交流センター(古井地区)

児童生徒の教育・日本語学習支援の取組事例④-1 (浜松市)

※平成31年1月1日現在

＜浜松市＞総人口※：804,780人

国籍・地域別外国人住民数※(上位3か国)：

うち、外国人住民数：24,336人(外国人住民割合：3.02%) ブラジル(9,321人)、フィリピン(3,829人)、ベトナム(2,619人)

①外国人子ども教育支援推進事業(教育委員会)

【公立小中学校に在籍する外国人児童生徒数】		平成30年5月1日現在	
区分	全児童生徒数	うち、外国人児童生徒数	
小学校 97校	43,068人	1,186人(2.8%)	
中学校 49校	20,269人	541人(2.7%)	
計	63,337人	1,727人(2.7%)	

○学校への支援者の配置・派遣

＜バイリンガル支援者＞

- ・初期適応サポーター(10人)
- ・就学支援員(14人)

- ・初期適応支援員(5人)
- ・就学サポーター(25人)

＜日本語・学習支援者＞

- ・日本語・学習支援者(NPOへ委託)
- ・外国人児童生徒教科指導員(40人)

＜指導・助言＞

- ・外国人児童生徒相談員(5人)

○ライフコース(成長の道すじ)を見据えた支援

- ・相談員による就学ガイダンス
- ・進路について語る会
- ・ステップアップクラス

- ・入学準備ガイダンス
- ・ロールモデルとの出会い

○ICTの配置

タブレット端末を使用し、外国人児童生徒等及び保護者に対して、母語での通訳支援と翻訳支援を実施

- ・テレビ電話機能を活用してのバイリンガルによる相談対応
- ・多言語アプリを活用しての多言語相談対応



タブレット端末使用イメージ

②日本語学習支援事業

○浜松市外国人学習支援センターの開設

外国人の大人から子供までを対象とした総合的な学習支援の施設の拠点として日本語教室や日本語ボランティア養成講座などを市民協働により実施。

施設1階に学習支援センター機能を備え、施設2階では南米系外国人学校が外国人の子供の教育を実施。

【主な事業】

- ・外国人市民を対象とした日本語教室
- ・日本語学習支援ボランティア養成講座
- ・NPO等支援団体と連携した地域日本語学習支援
- ・多文化理解・交流のための講座やイベント
- ・外国人支援者を対象としたポルトガル語講座
- ・外国につながる次世代の学習支援



外国人市民を対象とした日本語教室



外国人学校での授業風景

【市内南米系外国人学校(3校)に在籍する児童生徒数】		平成30年5月1日現在	
小学生	中学生	計	
197人	163人	360人	

児童生徒の教育・日本語学習支援の取組事例④-2 (浜松市)

※平成31年1月1日現在

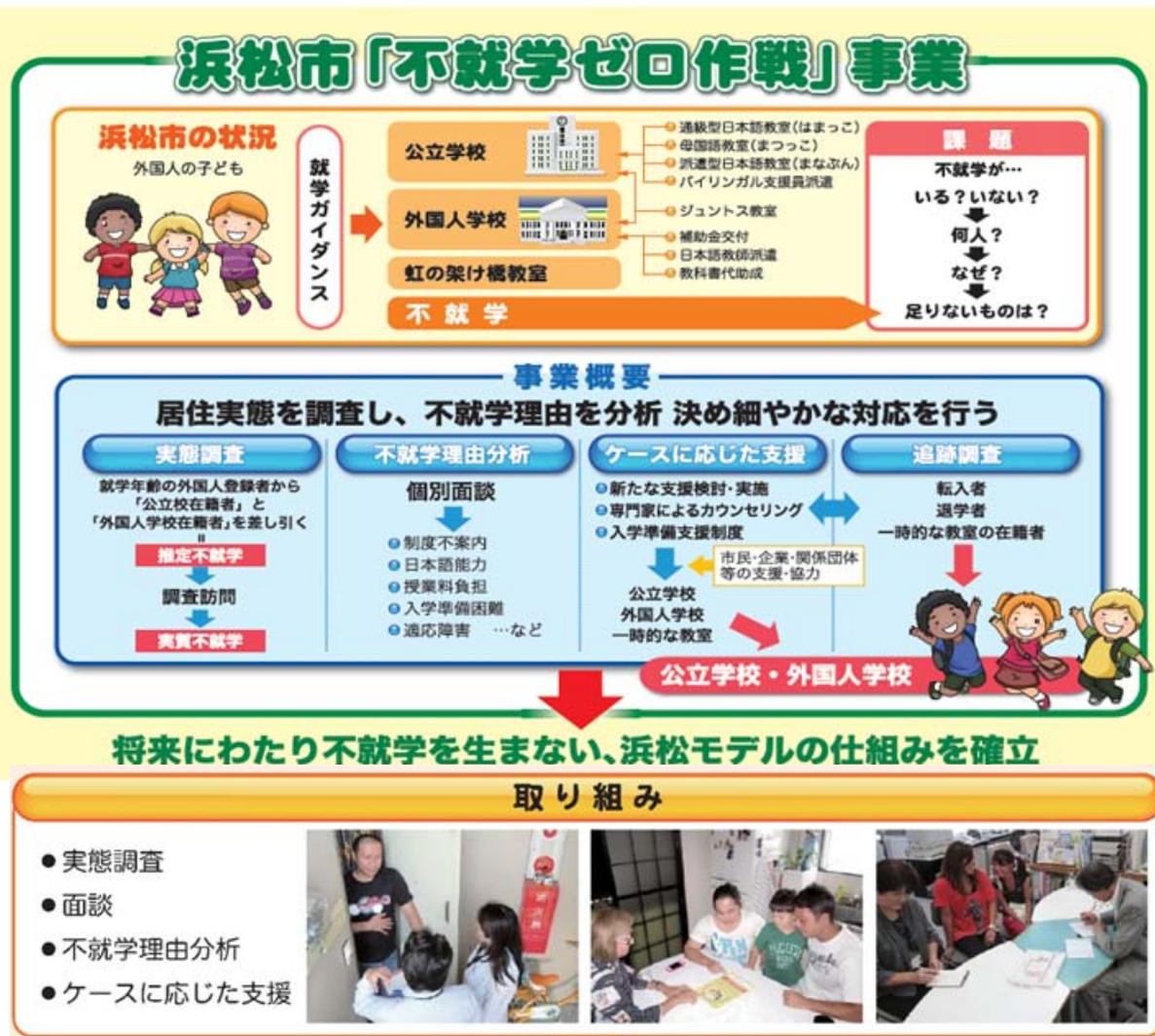
＜浜松市＞総人口※：804,780人

国籍・地域別外国人住民数※(上位3か国)：

うち、外国人住民数：24,336人(外国人住民割合：3.02%) ブラジル(9,321人)、フィリピン(3,829人)、ベトナム(2,619人)

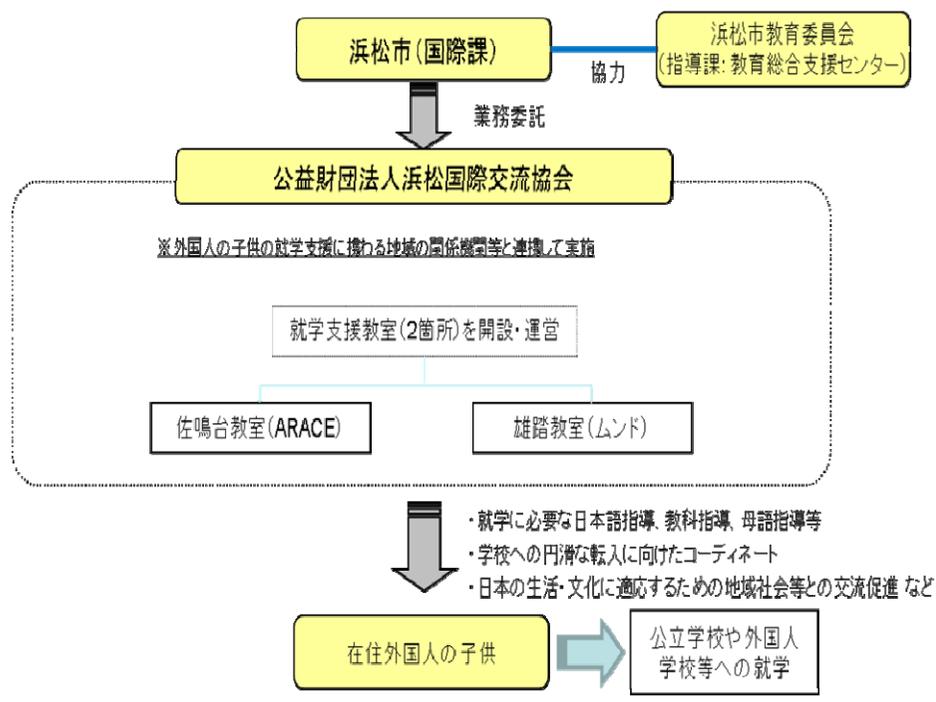
③外国人の子供の不就学ゼロ作戦事業

④定住外国人の子供の就学促進事業



外国人の子供の就学促進のため、外国人の子供の教育支援に係る関係機関と連携し、不就学の外国人の子供の学びの場を確保するとともに、公立学校や外国人学校等教育機関への就学につなげるために必要な支援を実施。

- 【主な事業】
- ・不就学の外国人の子供が就学に必要な日本語、教科若しくは母語及び学習習慣確保指導のための教室の開催
 - ・不就学の外国人の子供の学校への円滑な転入に向けたコーディネート
 - ・不就学の外国人の子供が日本の生活・文化に適応するための地域社会等との交流促進



児童生徒の教育・日本語学習支援の取組事例⑤（豊橋市）

※平成31年1月1日現在

＜愛知県豊橋市＞ 総人口※:377,303人

国籍・地域別外国人住民数※（上位3か国）:

うち、外国人住民数:17,219人(外国人住民割合:4.56%)

ブラジル(7,743人)、フィリピン(3,511人)、中国(1,476人)

①外国人児童生徒教育相談員等の充実

○「外国人児童生徒教育相談員」「外国人児童生徒教育スクールアシスタント」「登録バイリンガル」の3種類の支援者を設定し、外国人児童生徒をフォロー
○市内に外国人児童生徒相談コーナーを設置し、外国人児童生徒教育相談員として、以下を配置

- ・外国人児童生徒コーディネーター1名(ポルトガル語対応、非常勤嘱託職員)
- ・日本語教育巡回相談員7名(日本人)
- ・バイリンガル常駐相談員7名(ポルトガル語5名、タガログ語2名)
- ・バイリンガル巡回相談員4名(ポルトガル語2名、タガログ語1名、スペイン語1名)

○巡回相談員は、相談コーナーを拠点に市立小中学校を巡回し、通訳対応や教諭からの相談対応も実施

○外国人児童生徒の多い市立小中学校には、外国人児童生徒教育スクールアシスタントを5名配置

○そのほか、上記相談員等を補完する形で、登録バイリンガル35名が通訳ボランティアとして活動



(「みらい」修了式)

②日本語初期支援校「みらい」の実施(平成30年新規事業)

○来日して間もない外国籍の中学生や外国人学校から市内に編入した生徒たちの日本語指導を集中的に行う初期支援校「みらい」を市立豊岡中学校に設置し、2018年4月9日に開校

○外国籍生徒は、居住校区に学籍を置きながら、市立豊岡中学校において、週4日間160時間にわたり、日本語の読み書き、会話などを中心に指導を受ける機会を提供

○指導は、豊岡中学校の教諭2名に加え、ポルトガル語、タガログ語の相談員、教室運営を行うコーディネーターを配置

○11月末現在、延べ36名の外国籍生徒が活用(うち現在通級中6名)
(内訳 ブラジル:24名、フィリピン:11名、中国:1名)

(参考1)市立小中学校児童生徒数
(平成25年4月現在)

市立小中学校	児童生徒数	うち、外国人児童数
小学校 52校	21,576名	876名(4.1%)
中学校 22校	11,455名	402名(3.5%)
計	33,031名	1,278名(3.9%)

(平成30年4月現在)

市立小中学校	児童生徒数	うち、外国人児童数
小学校 52校	21,019名	1,264名(6.0%)
中学校 22校	10,473名	574名(5.5%)
計	31,492名	1,838名(5.8%)

(参考2)外国人児童の多い市立小学校
(平成25年4月現在)

小学校名	児童数 A	外国人児童数 B(B/A)
多米小学校	736名	116名(15.8%)
岩田小学校	750名	115名(15.3%)
中野小学校	464名	65名(14.0%)
汐田小学校	412名	61名(14.8%)
岩西小学校	496名	56名(11.3%)
飯村小学校	773名	42名(5.4%)

(平成30年4月現在)

小学校名	児童数 A	外国人児童数 B(B/A)
岩田小学校	824名	184名(22.3%)
多米小学校	747名	144名(19.3%)
汐田小学校	484名	99名(20.5%)
飯村小学校	731名	79名(10.8%)
岩西小学校	532名	69名(13.0%)
中野小学校	417名	58名(14.0%)

児童生徒の教育・日本語学習支援の取組事例⑥ (仙台観光国際協会)

※平成30年5月1日現在

＜仙台市＞総人口※：1,060,700人

国籍・地域別外国人住民数※(上位3か国)：

うち、外国人住民数：12,233人(外国人住民割合：1.15%) 中国(3,752人)、韓国(1,963人)、ベトナム(1,650人)

①外国につながる子どもと家族の支援

＜外国につながる子どもサポート相談デスク＞

- 教育委員会、学校、家族からの依頼でコーディネーターを派遣
- ・転入学時の手続きや面談等の通訳
- ・支援計画、学習方法のアドバイス
- ・学校向け日本語学習教材・外国語教材等の貸出



＜日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス＞

- ・市民団体、外国人市民、大学、行政等との協働による実施
- ・毎年情報を更新して「進路ガイドブック」を作成(6言語)



進路ガイドブック

＜小中学生のための夏休み教室＞

- ・小中学生の状況にあわせて日本語・教科学習
- ・大学生、留学生がボランティアとして多数参加



夏休み教室チラシ

＜小学校入学準備講座＞

- ・小学校入学前の子どもを持つ家族を対象とした説明会
- ・教員から学校生活や家庭学習について説明
- ・子育て経験のある外国人市民からのアドバイスなど



入学準備講座チラシ



ガイドブック「日本の小学校」

②生活オリエンテーションの実施

＜留学生を対象とした出前型オリエンテーション＞

- ・日本語学校、専門学校、大学の依頼により生活オリエンテーションを実施
- ・内容は相談により日本の習慣・マナー、交通ルール、ゴミ、防災など
- ・オリエンテーションを通して留学生受入機関との関係を構築



出前型オリエンテーションチラシ

＜テーマ別オリエンテーション＞

- ・日本語講座の一環として、定期的にテーマ別オリエンテーションを実施
- ・テーマは、防災、健康、税金、仕事、ゴミ、在留資格、買い物など多様
- ・講師の行政職員が外国人市民の声をきく機会にもなっている



テーマ別オリエンテーション

開催日時	開催場所	講師	内容
2019年10月15日(火)	仙台市立中央図書館	仙台市消防局 消防士	防災に関する講話
2019年10月22日(火)	仙台市立中央図書館	仙台市健康センター 健康指導員	健康に関する講話
2019年10月29日(火)	仙台市立中央図書館	仙台市税務センター 税務官	税金に関する講話
2019年11月5日(火)	仙台市立中央図書館	仙台市労働センター 労働指導員	仕事に関する講話
2019年11月12日(火)	仙台市立中央図書館	仙台市環境センター 環境指導員	ゴミに関する講話
2019年11月19日(火)	仙台市立中央図書館	仙台市入国管理局 入国管理官	在留資格に関する講話
2019年11月26日(火)	仙台市立中央図書館	仙台市消費生活センター 消費生活指導員	買い物に関する講話

③日本語学習支援

＜協働による日本語学習機会の確保＞

- ・市民団体や大学生サークル、地域の市民センターと協力し、託児付きや夜間開催、子ども教室などなるべく多様な日本語学習の場を提供
- ・各講座の広報や運営資金の協力、年1回の情報交換会開催

＜日本語ボランティアの育成＞

- ・外国人市民の日本語学習をサポートするボランティアを育成
- ・外国人市民への紹介、スキルアップ研修会の開催

＜日本語学習教材の収集・貸出＞

- ・日本語学習教材を収集し、図書室にて貸出



日本語教室のチラシ(上)と授業風景(下)